

2. データ集

2.1 はじめに

本文に収録されている材料の物性値を、テキストファイル形式（ファイル名：IEADATA.TXT）で提供する。この形式で提供されるデータは数値で示されたデータのみで、本文中において近似式等で表現されている物性値については収録していない。なお、本文の物性値のテキストデータ化については十分な注意を払っているが、このテキストデータを利用する際は、事前に本文に記されているデータとの比較点検を行うことを推奨する。

2.2 物性値テキストファイルのデータフォーマット

このテキストファイルを、パソコン等でのプログラムに読み込んで利用するために、データ識別のためのタグを以下の要領で埋め込んでいる。このタグは便宜的なものなので、用途によってエディタなどを使って適宜変更することが可能である。

1)材料名をタグ[\material]で識別する。

【例】 \material\CONCRETE

2)材料名と物性値名を¥マークで区切る。

【例】 \CONCRETE\Dry density

3)物性値と物性値の区切りは改行を一つ入れる。

【例】 \CONCRETE\Dry density
2200 kg・m⁻³
[改行]
\CONCRETE\Heat capacity
840 J・kg⁻¹・K⁻¹

4)行内での区切り（例えば数値と単位の区切り）はタブ[tab]区切りとする。

【例】 840 [tab] J・kg⁻¹・K⁻¹

5)表の識別をするために表の上に[\table_top]、表の下に[\table_end]を入れる。

【例】 \CONCRETE\Thermal conductivity of the dry material
\table_top
\Test Method T, Hot surface °C
B62-003 11.5 9.0
B62-003 22.4 18.9
B62-003 32.9 29.4
\table_end

6)指数(10 のべき乗)は E で表現する。

【例】 5x10⁸ は 5E+8 に変換している。